



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年8月9日

上場会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 5277 URL <http://www.spancretecorp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浮田 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 井上 卓郎 TEL 03-5689-6311
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	930	△12.0	33	△80.3	41	△76.6	36	△69.5
2018年3月期第1四半期	1,056	162.7	171	—	178	—	119	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	4.73	—
2018年3月期第1四半期	15.51	15.49

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	8,154	6,462	79.3
2018年3月期	8,107	6,500	80.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 6,462百万円 2018年3月期 6,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,191	23.4	67	△66.1	75	△64.2	64	△56.3	8.29
通期	4,218	24.3	161	△32.8	177	△32.0	149	△27.8	19.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	9,332,400株	2018年3月期	9,332,400株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,611,919株	2018年3月期	1,611,918株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	7,720,481株	2018年3月期1Q	7,720,482株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

・「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、雇用環境及び企業収益の改善が続き、個人消費に回復の兆しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しており、海外における米国や欧州各国の政治情勢の変動や金融政策動向等から先行き不透明感が依然としてあるものの、全体としては緩やかな成長を維持しています。

この間、建設業界におきましては、市場環境は東京オリンピック関連工事が本格化するものの、資材価格・エネルギーコスト・輸送価格が高騰し、建設技能労働者不足による労務単価の上昇する経営環境が続いております。このような状況下で当社の当第1四半期累計期間の業績は、過去の販売低迷期に受注した物件の取引が開始されたことと、資材価格、エネルギーコスト、輸送価格の高騰や労務単価の上昇から採算が悪化して、売上高930百万円(前年同四半期比12.0%減)、営業利益33百万円(前年同四半期比80.3%減)、経常利益41百万円(前年同四半期比76.6%減)、四半期純利益36百万円(前年同四半期比69.5%減)となりました。

事業別にみると、主力のスパンクリート事業は、売上数量が前年同四半期比5.0%増加しましたが、過去の販売低迷期に受注した物件の取引が開始されたことと、資材価格、エネルギーコスト、輸送価格の高騰や労務単価の上昇から採算が悪化したことにより、売上高は852百万円(前年同四半期比12.9%減)と減収となりました。利益面に関しましては、△4百万円(前年同四半期は131百万円の営業利益)となりました。

他方不動産事業は、オフィスビル4棟の賃料収入が安定収益源となっており、売上高77百万円(前年同四半期比0.0%増)、営業利益38百万円(前年同四半期比5.6%減)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ47百万円増加して8,154百万円となりました。

流動資産は、1百万円増加しておりますが、これは主として、現金及び預金が83百万円減少、売上債権が93百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、46百万円増加しております。

流動負債は、107百万円増加しております。これは主として、買掛金33百万円増加、その他の内の未払金40百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、22百万円減少しております。

純資産につきましては、期末配当による61百万円減少、四半期純利益36百万円増加したこと等から38百万円減少し、6,462百万円となり、この結果、自己資本比率は79.3%(前事業年度末80.2%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2018年5月15日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,264,108	1,180,140
受取手形	14,547	747
売掛金	1,114,481	1,232,418
完成工事未収入金	55,654	44,881
有価証券	285,000	285,000
商品及び製品	120,598	108,047
仕掛品	3,132	5,966
未成工事支出金	1,801	—
原材料及び貯蔵品	46,678	49,639
その他	41,798	42,229
流動資産合計	2,947,803	2,949,069
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,094,353	1,098,011
機械及び装置(純額)	81,020	105,222
土地	3,052,641	3,052,641
その他(純額)	30,284	66,011
有形固定資産合計	4,258,299	4,321,887
無形固定資産	91,450	88,411
投資その他の資産		
投資有価証券	773,011	754,188
その他	36,508	40,811
投資その他の資産合計	809,520	795,000
固定資産合計	5,159,270	5,205,298
資産合計	8,107,073	8,154,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,716	91,121
工事未払金	49,061	67,840
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	101,700	101,700
未払法人税等	49,157	15,364
賞与引当金	30,500	18,900
その他	211,566	319,548
流動負債合計	999,701	1,114,474
固定負債		
長期借入金	59,300	33,875
再評価に係る繰延税金負債	204,782	204,782
その他	342,519	338,786
固定負債合計	606,602	577,444
負債合計	1,606,303	1,691,919

(株)スパンクリートコーポレーション(5277) 2019年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,295,906	3,295,906
資本剰余金	2,999,252	2,999,252
利益剰余金	260,237	234,967
自己株式	△370,594	△370,594
株主資本合計	6,184,801	6,159,530
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	308,301	295,251
土地再評価差額金	7,667	7,667
評価・換算差額等合計	315,968	302,918
純資産合計	6,500,769	6,462,449
負債純資産合計	8,107,073	8,154,368

(株)パンクリートコーポレーション(5277) 2019年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	1,056,983	930,316
売上原価	751,780	732,104
売上総利益	305,202	198,212
販売費及び一般管理費	133,355	164,317
営業利益	171,846	33,895
営業外収益		
受取利息	1,618	1,739
受取配当金	4,300	5,194
仕入割引	920	693
その他	1,029	1,600
営業外収益合計	7,868	9,228
営業外費用		
支払利息	1,000	911
休止固定資産諸経費	436	512
その他	—	51
営業外費用合計	1,436	1,475
経常利益	178,279	41,647
特別損失		
投資有価証券評価損	35,726	—
減損損失	7,412	—
特別損失合計	43,138	—
税引前四半期純利益	135,140	41,647
法人税等	15,572	5,153
四半期純利益	119,568	36,493

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額 (注)
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	979,393	77,589	1,056,983	—	1,056,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	979,393	77,589	1,056,983	—	1,056,983
セグメント利益	131,564	40,282	171,846	—	171,846

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額 (注)
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	852,722	77,594	930,316	—	930,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	852,722	77,594	930,316	—	930,316
セグメント利益	△4,126	38,021	33,895	—	33,895

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。